



申4号

東海道線大船駅構内で発生した異線現示・異線進入の 原因を究明し、安全第一の職場をつくり出す申し入れを行う！

5月23日、東海道線大船駅構内で第1826E列車が貨物上り本線への異線現示に気付かず、進入する事象が発生しました。各報道では、会社のプレス発表に基づき運転士が信号を見間違えたことが原因とした報道が行われています。

異線進入については、運転士が信号を見誤ったことが原因ではありますが、具体的な背後要因については明らかにされていません。人間はミスをするを前提に置き、背後要因を掘り下げることが重要です。

また、**そもそも異線現示が発生した原因究明を徹底して行い、具体的な対策を講じなければ再発防止することは出来ません。**今事象においては、様々な背後要因について、職場から意見が出されています。「キヤE195系はレールを積載していないと軽いため、運転していても跳ねるような感覚がある」「短絡不良によりATOSモニタから在線が消えることがある」「以前より、機関車の単機運転時に車両長やレールの錆、雨などの条件により不正扛上は発生していた」との声が上がっています。不正扛上の発生が異線現示の要因であるのならば、**以前から発生していることであり、会社としてこの間対策を講じていないのではないかと疑問を持たざるを得ません。**さらには、これまで発生している不正扛上について、関係職場に情報共有が適切に行われておらず、安全がトッププライオリティとして位置付けられているのか危惧します。

申し入れ項目

1. 2023年5月23日に東海道線大船駅構内において、第1826E列車に対する貨物上り本線への異線現示が発生した理由を明らかにすること。
2. キヤE195系の運転に伴い不正扛上等、発生している課題を明らかにすること。
3. 発生した事象に対しては、責任追及とせず「4M4E」分析手法等による徹底した原因究明により、安全第一の職場を構築すること。

**発生した事象に対して徹底した原因究明と具体的な対策を行い、
安全第一の職場を構築するため、団体交渉を行います！**